

# 福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 別府永生会 永生会母子ホーム
------	--------------------------

# 福祉サービス第三者評価結果

## ①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

## ②第三者評価実施期日

平成25年11月26日、27日

## ③事業者情報

名称：社会福祉法人 別府永生会 永生会母子ホーム	種別：母子生活支援施設
代表者氏名：理事長 永見光代	定員（利用世帯数）20名
所在地：大分県別府市野口中町14番26号 TEL：0977（26）2355	

## ④総評

### ◇評価の高い点

- 急激な環境の変化により入所直後の精神的不安定さを軽減・解消するために、臨床心理士7人を配置するなどして母親と子どもの課題を正しく理解することに努め、自己の意思で課題を解決できるよう個々の気持ちに寄り添い、親子・家庭の在り方を重視した支援がなされている。
- プライバシー保護については、規定・マニュアルが整備され組織として取り組んでいる。また、母親と子どもの意向を把握するために、自立支援計画の策定や見直し時期には面接をし、利用者が計画の策定に参画している。
- 利用者の安全を脅かす事例を連絡ノートにより日々情報収集を行い要因分析と対応策を取っている。特に、職員の経験年数などに要因することについては、個別にロールプレイを行い不測の事態に備え組織としての対応を強化している。
- 利用者へ配布する「生活のしおり」の末尾に、関係機関・団体をリスト化し生活便利帳として明示し、職員と利用者が情報の共有を図る工夫がされている。
- 施設長、基幹的職員をスーパーバーザーとし、臨床心理士2名を外部契約するなど外部専門家による専門的な見地からの研修を毎月実施し、また、個別職員研修も実施している。
- 施設は信・望・愛を理念として定め、使命やめざす方向等を示している。特に、職員の意見を取り入れるため、日常の支援に活用している連絡ノート（職員の主観も記入）を用意し、全員が自由に記入をしており、これらを支援や経営に反映する仕組みとなっている。
- 「連絡ノート」は、支援内容・方法の悩み等何でも書くことができ、職員の情報の共有化を図り協働性を高めるとともに、職員育成に活かされている。また、年2回定期的に職員と個別面談を行い支援の質の評価分析を行っている。本ノートを参考に業務達成度分析、目標シートや5段階方式の自己評価により各職員が自己分析をしている。

#### ◇改善を求められる点

- DV被害や被虐待児の中には、誤った性知識を身につけているケースもあるので、年齢や発達段階に応じた性教育に関する支援計画の策定と実施、子どもの学習室など身近なところに関連図書を準備するなどの努力が望まれる。
- 母子生活支援施設の機能の一つに親子再統合があると思われるので、関係機関との連携を密にとり、退所後も安定した母子の生活が維持できるように、アフターケアに努めることを期待する。
- 自立支援計画を定期的に見直すためには、母親や子どもの現状を総合的に分析、検討することが必須である。支援計画の基本となるアセスメント結果が適切に計画に反映され、支援に生かされているかどうかを判断するための具体的な仕組みや手順を構築することが望まれる。
- 職員主導の生活支援から、母親や子どもが施設の主人公であるという自覚を育て、主体的に生活することを通してこそ自立の道を開けるという意識を常に持つような自治会活動の支援が望まれる。
- 各種マニュアルは整備しているが、十分機能するために緊急時の母子の安全確保の体制（災害時や、母と子どもの安全を脅かす事例）について、定期的な検討の場の設置、評価、見直しの実施を期待する。
- 関係機関の都合によることが多いが、今後とも母子生活支援施設協議会で組織的に関係機関と必要な時に連携できる仕組み作りを期待する。複雑多様化する利用者と地域社会への参加、交流については、施設だけでは取り組みが困難なことがあるので、地域で利用者を支える仕組みの構築を母子生活支援施設協議会で組織的に検討、協議することから始めることを期待する。
- 職員の教育・研修に関する組織の基本姿勢を基本方針や中・長期計画に明示し、職員一人ひとりについても技量等を評価・分析し、その結果に基づいた個々人の教育・研修計画を策定し人材の資質のさらなる向上が望まれる。
- 社会的動向を把握しニーズを分析しているが措置費等の関係もあり予算的に中長期計画策定が困難である。母子施設全体で協議がなされることを期待する。

#### ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回、初めて第三者評価を受審し、自己評価と比べ評価の捉え方の違いに気が付きました。

私たちがこれまでやって来たことに対するの評価であると受け止め、更なる支援の質を高めるため、法人の理念を理解し利用者の利益を追求できるよう職員のチームワークを大切にし、日々励んでいきたいと思っております。

#### ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）